

平成25年度 計画策定部会議事録（要旨）

1. 開催日時 第1回部会：平成26年1月31日（金）
第2回部会：平成26年2月24日（月）

3. 審議事項

- ・「特別史跡熊本城跡保存管理計画(案)」について
 - ① 構成要素の整理について
 - ② 史跡の追加指定及び公有化について
 - ③ 地区ごとの保存管理方針について
 - ④ 史跡の整備方針について

4. 審議・会議録（要旨）

- ・建造物の表記方法については、文化庁の建造物目録にならい「天守」「○重○階櫓」と表記するのが適当ではないか。
- ・櫓名として固有名詞となっているものを除き、一般的には実際の構造に基づき表記するのが適当ではないか。
- ・加藤期と細川期で存在した要素が異なる場合、表記をどのようにしていくか検討が必要である。
- ・史跡を構成する要素でもなく、お城としての景観にそぐわない要素について取り扱いをどうするか。
- ・現代の利用に際しては、史跡としてふさわしいということではないが、既存の施設を活用して利用していくという考え方でもよいのではないか。
- ・新町地区は、旧城域とは性格が異なる地区なので、現状の中で何を大事にしていくかに言及していったらどうか。
- ・植生管理、景観管理、施設の移転計画や文化施設の現況などは、地区ごとに述べるのではなく、熊本城としてどうあるべきかという視点から計画策定区域全体で論じていくべきである。
- ・郭を囲む堀は、中にある郭に付属するものとするのが適当ではないか。それにならい、地区区分を実施するべきである。